

2024 年 3 月 5 日

専門委員会開催報告

会合名	第 6 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」 特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他* *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2024 年 3 月 4 日(水) 10:00～11:00
開催場所	Web 会議 (Zoom)
参加者名	佐々木主査, 若杉幹事 原子力発電環境整備機構: 古崎, 西崎 事 務 局: 朽山, 石川, 立川, 花渕
議事	1. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」(最終案) 著作権の取扱いおよび問い合わせ対応の方針について特別専門委員会としての意向を確認した。 2. 語彙基盤(地層処分の言葉)を用いた安全コミュニケーションの提案(最終案) 本文書の公開について再確認した。「語彙基盤(地層処分の言葉)」の附属資料であることを示すため、標題に「附属資料」と追記, また「語彙基盤(地層処分の言葉)」のまえがきにおいて「附属資料」であることが分かるよう追記することとした。この微修正をもって、両文書を最終案とすることを了承した。 3. 報告書の取りまとめ 本日の幹事会での議論を踏まえ報告書案の内容を修正するとともに, 引き続き, 一部の編集作業を進めることでも了承した。最終案は特別専門委員会委員に確認を求めることとした。 4. 今後のスケジュール 報告書の取りまとめスケジュールを確認した。
備考	

専門委員会開催報告

会合名	第4回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2024 年 1 月 30 日(火) 9:30 ~ 12:00
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議(Zoom)／(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル 4 階大会議室
参加者名	佐々木主査、若杉幹事、小林委員、小山委員、寿楽委員、田中委員、半井委員、廣野委員 原子力発電環境整備機構: 高橋、古崎、西崎 オブザーバー: 坂本、松岡、出雲(バックエンド部会)、中山(JAEA) 事務局: 立川、朽山、石川、花渕
議事	1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており、記載内容については確認済み。 2. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」の取りまとめ 前回の特別専門委員会と、その後の委員、NUMO からのコメントを踏まえた最終案を審議し、最終案が了承された。議論に基づき、微修正を行い、委員の確認を求めることとした。 3. 語彙基盤(地層処分の言葉)を用いた安全コミュニケーションの提案の取りまとめ 前回の特別専門委員会と、その後の委員、NUMO からのコメントを踏まえた改訂版について審議した。議論に基づき、修正を行い、委員の確認を求めることとした。 4. 報告書の取りまとめ 事務局より報告書の目次案が提示され、了承された。報告書案については、委員の確認も求めることとした。但し、議題 2 と 3 で採り上げた両書、報告書の最終判断は、幹事会に一任することとした。 5. 今後のスケジュール 報告書の取りまとめに向けた、暫定先なスケジュールが事務局より提示され、今後、日程が確定でき次第、委員に案内することとした。 6. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」の活用等 ● 今後の「語彙基盤(地層処分の言葉)」と「語彙基盤(地層処分の言葉)」を用い

	た安全コミュニケーションの提案の取りまとめ」に関して議論を行った。両書を公開するにあたっての課題について議論し、免責条項の追記等をつめていくこととした。 ● 3 ヶ年の活動を振り返り、オブザーバー、事務局も含め出席者の所感が述べられた。 7. 事務連絡、閉会の挨拶 事務局からの事務連絡があり。主査、NUMO、事務局から閉会の挨拶があり、委員に対して謝辞が述べられた。
備考	

専門委員会開催報告

会合名	第 5 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」 特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他* *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2024 年 1 月 24 日 (水) 10:00～11:30
開催場所	Web 会議 (Zoom)
参加者名	佐々木主査, 若杉幹事 原子力発電環境整備機構: 古崎, 西崎 事務局: 朽山, 石川, 立川, 花淵
議事	1. 第 4 回特別専門委員会の進め方 議事次第案に基づき, 資料の内容と進め方の確認を行った。 1) 「語彙基盤(地層処分の言葉)」(最終案) 委員等からのコメントに基づき修正した箇所について事務局から説明があり, 一部修正を加えて, 最終案として, 委員会で審議することにした。 2) 語彙基盤(地層処分の言葉)を用いた安全コミュニケーションの提案(改訂版) 委員等からのコメントに基づき修正した箇所について事務局から説明があり, 一部修正を加えて, 改訂案とすることで, 委員会で審議することにした。 3) 報告書の取りまとめ 目次案を提示して, 特別専門委員会の了承を得ることとした。 4) 今後のスケジュール 報告書の作成に関して印刷業者との調整を踏まえて, スケジュールを更新することとした。なお, 報告書の最終的な了承は, 幹事会に一任することを委員に求めることとした。このため, 第 6 回幹事会を開催することとした。 5) その他 今後、「語彙基盤(地層処分の言葉)」を活用したいとの委員からの要望もあり, 今後の活用のみならず, 委員さらに, 必要に応じてオブザーバーから意見を伺うことにして, 項目を「語彙基盤(地層処分の言葉)」の活用等に変更して時間配分も調整することとした。 2. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」及び「語彙基盤(地層処分の言葉)を用いた安全コミュニケーションの提案」の公開について 上記の 5)に関連して, 両書の公開および著作権等に関して, バックエンド部会等と調整を行うことにした。
備考	

専門委員会開催報告

会合名	第 3 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 12 月 27 日(水) 9:30 ~ 12:30
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議(Zoom)／(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル 4 階大会議室
参加者名	佐々木主査、若杉幹事、小林委員、小山委員、寿楽委員、田中委員、半井委員、廣野委員、松島委員、安江委員 原子力発電環境整備機構: 高橋、古崎、西崎 オブザーバー: 坂本、松岡、出雲(バックエンド部会)、中山(JAEA)、 北村(資源エネルギー庁) 事務局: 立川、朽山、花淵
議事	1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており、記載内容については確認済み。 2. 「語彙基盤」の実践の場における試行の結果 事務局より、「語彙基盤」の実践の場について、概要報告を行った。試行の結果得られた指摘事項は整理表としてまとめたことが報告された。 3. ワーキンググループにおける検討状況 事務局より、「語彙基盤」の実践の場の後に 2 回にわたり開催したワーキンググループについて、上記 2 でまとめた整理表に基づき、「語彙基盤」の改訂について検討を行ったことが報告された。また、第 4 回ワーキンググループ会合では、「地層処分の安全性について説明するための工夫の提案(事務局案)」について、検討を行ったことも報告された。 4. ワーキンググループの議論を踏まえた「語彙基盤」改訂版 事務局より「語彙基盤」の最終案として、ワーキンググループの議論を踏まえた「語彙基盤」の改訂版の説明があり、編集上の点も含めた、委員からの指摘事項について検討した。「語彙基盤」は、第 4 回特別専門委員会において再度確認することとし、委員からも気付き事項等があれば、指摘を求めたいとの依頼があった。 5. 語彙基盤(地層処分の言葉)を用いた安全コミュニケーションの提案 主査から、上記の 3 で報告のあった「地層処分の安全性について説明するための工夫の提案」について、幹事会でさらに検討し、タイトルを「語彙基盤(地層処分

	の言葉)を用いた安全コミュニケーションの提案」したことや本提案の概要について説明があった。本案について、基本的な内容は合意されたが、さらに委員からの意見を求め、第4回特別専門委員会で取りまとめることとした。 6. 事務連絡 第4回特別専門委員会の日程調整を行い、2024年1月30日(火)午前を開催することとした。
備考	

2023 年 12 月 19 日

専門委員会開催報告

会合名	第 4 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」 特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他* *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 12 月 8 日(金) 14:30～16:30
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議(Zoom)、(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル 4 階大会議室
参加者名	佐々木主査, 若杉幹事, 寿楽委員 原子力発電環境整備機構: 古崎, 西崎 事 務 局: 朽山, 石川, 立川, 花淵
議事	1. 「語彙基盤」の実践の場における試行の結果 実践の場における原子力安全部会・バックエンド部会の専門家からのコメントを整理表として取りまとめたことを確認した。 2. ワーキンググループにおける検討状況 実践の場における議論に基づき, ワーキンググループで「語彙基盤」を改訂したことを確認した。 3. 第 3 回特別専門委員会の進め方 上記 1 について特別専門委員会に報告することとした。また, 上記 2 において改訂した「語彙基盤」に、まえがきを追記した上で, 第 3 回特別専門委員会前に委員に確認を求めることとした。 4. 地層処分の安全性について説明するための工夫の提案 本提案の草案について議論し, 標題を修正することとした。また, 草案の内容について幹事会と寿楽委員が確認した上で, その改訂版について, 第 3 回特別専門委員会前に委員に確認を求め, さらに同委員会で本草案について議論し, 第 4 回特別専門委員会で, 取りまとめることとした。
備考	

2023 年 11 月 24 日

専門委員会開催報告

会合名	第 4 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会ワーキンググループ
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 *(第 4 回「語彙基盤」改良ワーキンググループ) *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 11 月 17 日(金) : 16:00 ~ 19:30
開催場所	Web 会議 (Zoom)
参加者名	佐々木主査, 若杉幹事, 寿楽委員 原子力発電環境整備機構: 高橋 事務局: 朽山, 石川, 立川, 花淵
議事	第 3 回ワーキンググループに引き続き, 「実践の場」において日本原子力学会原子力安全部会ならびにバックエンド部会の専門家から得たコメントへの対応について議論した。また, 地層処分の安全性について説明するための工夫の提案(素案)の検討を行った。 1. 「実践の場」におけるコメントへの対応について(継続) 整理表に基づき, 「語彙基盤」の更なる改良に向けた議論を行った。議論の結果に基づき, 今後「語彙基盤」の改訂を行った上で, 委員から意見を求めることとした。 2. 地層処分の安全性について説明するための工夫の提案について 本特別専門委員会の活動から提起される地層処分の安全性について説明するための工夫について, 素案の検討を行った。議論の結果に基づき, 今後素案を改訂し, 委員から意見を求めることとした。 3. その他 今後のスケジュールについて調整を行った。次回幹事会は, 本ワーキンググループの議論と関連することから, 寿楽委員の出席を求めることとした。
備考	

2023 年 11 月 22 日

専門委員会開催報告

会合名	第 3 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会ワーキンググループ
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 *(第 3 回「語彙基盤」改良ワーキンググループ) *分科会, WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 11 月 16 日(木) : 9:30 ~ 13:00
開催場所	Web 会議 (Zoom)
参加者名	佐々木主査, 若杉幹事, 寿楽委員 原子力発電環境整備機構: 高橋, 古崎 事 務 局: 朽山, 石川, 立川, 花淵
議事	これまで, 本特別専門委員会は, 検討を進めてきた「語彙基盤」について, 日本原子力学会原子力安全部会ならびにバックエンド部会の専門家から意見を伺う「実践の場」を開催した。本ワーキンググループでは, 「実践の場」で得た専門家からの意見等を改めて整理し, 「語彙基盤」の更なる改良に向けた検討を行った。 1. 「実践の場」の振り返りについて 専門家との議論および意見等について振り返りを行った。 2. 「実践の場」におけるコメントへの対応について 整理表に基づき, 「語彙基盤」の更なる改良に向けた議論を行った。全てのコメントに対応するため, 引き続き議論を継続することとした(11 月 17 日予定)。
備考	

2023 年 10 月 20 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 3 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」 特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 10 月 3 日(火) 13:10～15:00
開催場所	Web 会議(Zoom)
参加人数	8 名 佐々木主査、若杉幹事、廣野委員、安江委員 原子力発電環境整備機構:古崎 事務局:立川、朽山、石川
議事	1. 特別専門委員会の議論を踏まえた「語彙基盤」改訂版 ・第 3 回特別専門委員会で指摘のあった地質環境に関する改良点を反映した「語彙基盤」について、関係する委員に確認し、更なる修文を行った。 ・今後、特別専門委員会に、この修文を行った「語彙基盤」を送付することとした。 ・地質環境の語彙基盤に対する修文案について、提案者である廣野委員と安江委員から、趣旨を確認し、より明確に意図を伝えるべく、更なる修文を議論した。 ・更なる修文を幹事会は了承し、特別専門委員会に、この修文を行った「語彙基盤」を送付することとした。
備考	

2023 年 10 月 16 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 9 月 19 日(火) 13:30 ~ 16:30
開催場所	Web 会議(Zoom)
参加人数	19 名 佐々木主査、若杉幹事、小林委員、寿楽委員、半井委員、廣野委員、松島委員、安江委員 原子力発電環境整備機構:高橋、古崎 オブザーバー:坂本、松岡、出雲(バックエンド部会)、中山(JAEA)、 北村(資源エネルギー庁) 事務局:立川、朽山、石川、花淵
議事	1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており、記載内容については確認済み。 2. ワーキンググループにおける検討状況 事務局より、前回の特別専門委員会後に 2 回にわたり開催したワーキンググループについて、主な議論の紹介が行われた。 3. ワーキンググループの議論を踏まえた「語彙基盤」改訂版 事務局よりワーキンググループの議論を踏まえた「語彙基盤」の改訂版の説明があった。修正箇所について、議論を行い、さらに改良すべき点が指摘され、引き続き文章の改訂を行うこととした。 4. 「語彙基盤」の実践の場における試行方策検討 「語彙基盤」の実践の場としての原子力学会安全部会との勉強会について事務局より案内があった。主査から、原子力学会安全部会の窓口担当者に向けた事前説明資料について説明があった。 5. 事務連絡 事務局より、実践の場からのフィードバックを踏まえた第 3 回ワーキンググループ会合の開催について案内があった。人選と開催日時については後日調整することとした。
備考	

2023 年 10 月 5 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」 特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 9 月 13 日(水) 18:00～19:30
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議(Zoom)、(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル 5 階会議室
参加人数	8 名 佐々木主査、若杉幹事 原子力発電環境整備機構: 古崎, 高橋 事務局: 立川、朽山、石川、花淵
議事	- 第 2 回特別専門委員会の進め方 - 議事次第案の確認を行った。 - 出席予定のオブザーバーについて確認することとした。 - ワーキンググループでの議論を反映した「語彙基盤」の改良 - ワーキンググループにおける議論に基づき改訂した「語彙基盤」を確認した。一部、表現を修正した上で、第 2 回特別専門委員会で議論すべく、委員に事前送付することを了承した。 「語彙基盤」の実践の場における試行方策検討: 原子力学会安全部会との勉強会 - 勉強会開催に向けた、原子力学会安全部会の担当者との事前調整に向け、事前説明資料の内容を確認した。 - 開催方式(オンライン開催、対面とのハイブリッド開催)について調整すると共に、出席者の確認を行うこととした。 - その他 「地層処分の安全性について理解するための工夫の提案(仮題)」の作成について、議論を行った。本件は、第 3 回特別専門委員会で扱うこととし、事前に試案を作成することとした。
備 考	

2023 年 9 月 21 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会ワーキンググループ
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 (第2回「語彙基盤」改良ワーキンググループ) *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 9 月 5 日(火) 16:30～19:30
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議(Zoom)、(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル 5 階大会議室
参加人数	9 名 佐々木主査、若杉幹事、寿楽委員、田中委員 原子力発電環境整備機構: 古崎 事務局: 立川、朽山、石川、花淵
議事	1. 開会挨拶 佐々木主査より開会挨拶が行われた。 2. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」(D.1.6)について 事務局より第 1 回特別専門委員会ワーキンググループにおける草案(ドラフト 1.5(D.1.5))の議論に基づき改訂した草案(ドラフト 1.6(D.1.6))の修正箇所について説明を行い、議論を行った。 3. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」(D.1.6)の検討 第 1 回特別専門委員会ワーキンググループで議論しきれず、取り残しとなった第 1 回特別専門委員会後に提出されたコメントに基づく修正／追記箇所の議論を行った。 4. 事務連絡 事務局より、今後のスケジュールについて案内があった。また、今回のワーキンググループでの議論に基づきさらに改訂した草案は、特別専門委員会委員に事前送付し、第 2 回特別専門委員会で審議することとした。
備考	

2023 年 9 月 21 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会ワーキンググループ
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 (第 1 回「語彙基盤」改良ワーキンググループ) *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 8 月 31 日(木) 9:30～13:30
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議(Zoom)、(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル4階大会議室
参加人数	10 名 佐々木主査、若杉幹事、寿楽委員、安江委員 原子力発電環境整備機構: 高橋、古崎 事務局: 立川、朽山、石川、花淵
議事	1. 開会挨拶 佐々木主査より開会挨拶が行われた。 2. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」(D.1.5)について 事務局より第 1 回特別専門委員会における草案(ドラフト 0(D.0))の議論に基づき改訂した草案(ドラフト 1.5(D.1.5))の修正箇所について説明を行い、議論を行った。 3. 「語彙基盤(地層処分の言葉)」(D.1.5)の検討 第 1 回特別専門委員会後に提出された草案(ドラフト 0(D.0))に対するコメントについて、議論を行った。 4. 事務連絡 事務局より、今後のスケジュールの案内があった。今回のワーキンググループで残された論点は、9 月 5 日に第 2 回ワーキンググループを開催して議論することとした。
備考	

2023 年 8 月 15 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 7 月 31 日(月) 15:30～18:45
開催場所	Web 会議(Zoom)
参加人数	20 名 佐々木主査、若杉幹事、小林委員、小山委員、寿楽委員、田中委員、 半井委員、廣野委員、松島委員、安江委員 原子力発電環境整備機構:高橋、古崎 オブザーバー:坂本、松岡、出雲(バックエンド部会)、中山(JAEA) 事務局:立川、朽山、石川、花渕
議事	- 開会挨拶 佐々木主査より開会挨拶が行われた。 - 本年度の実施計画 事務局より本年度の実施計画について説明を行い、委員会です承された。 - 昨年度作成した「語彙基盤」の改良 事務局より 2022 年度に作成した「語彙基盤」に、目次、図、表を加え、一部文言を修正、追記した改訂版の説明があった。各委員より、より分かりやすくなったとの意見と共に、さらに改良すべき点が指摘された。具体的な内容へのコメントは、今後委員に意見を求めることとした。 - 事前に小山委員により行われた「語彙基盤」の実践の場における試行の報告 小山委員から、昨年度作成した「語彙基盤」を教材として用いた学部生のディベートとアンケートの結果について報告があった。 - 本年度のワーキンググループの活動 - 第 1 回ワーキンググループのメンバーの人数を行い、今後、事務局より日程調整を行うこととした。本ワーキンググループは、議題 3 にある「語彙基盤」に対する委員からの意見も踏まえ検討していくこととした。 - 第 2 回ワーキンググループについては、「語彙基盤」の実践の場の議論を踏まえることとしており、メンバーの人数は、後日行うこととした。 「語彙基盤」の実践の場における試行方策検討:原子力学会安全部会との勉強会

	「語彙基盤」の実践の場とすべく、原子力学会安全部会との勉強会での試行方策について議論を行った。今後、特別専門委員会の幹事会と関係者との間で勉強会の開催に向けた調整を進めることとした。 7. 「地層処分の安全性について理解するための工夫の提案(仮題)」の作成について 「地層処分の安全性について理解するための工夫の提案(仮題)」の作成の趣旨について、高橋氏から説明があった。タイトルや提案の内容については、今後、特別専門委員会の議論と実践の場での議論を踏まえて、検討していくこととした。 8. 事務連絡 事務局より、「語彙基盤」へのコメントの提出期日の連絡、第 1 回ワーキンググループの日程調整を後日行うとの案内があった。
備 考	

2023 年 8 月 10 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」 特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 7 月 14 日(金) 15:00～17:30
開催場所	Web 会議(Zoom)
参加人数	6 名 佐々木主査、若杉幹事 原子力発電環境整備機構:古崎, 高橋 事務局:立川、朽山
議事	1. 本年度における検討の進め方 ・第 1 回特別専門委員会の議事次第案を確認した。本年度の検討の進め方は、実施計画の説明の中で簡潔に行うこととした。また、昨年度作成した「語彙基盤」の改良の議論の後、委員により事前に行われた「語彙基盤」の実践の場における試行の報告を行うこととした。 ・「語彙基盤」の実践の場における試行方策の検討として、特別専門委員会での論点を事務局で整理し資料を準備することとした。資料は、事前に主査・幹事の確認を求める。 ・「地層処分の安全性について理解するための工夫の提案(仮題)」の作成に関する説明資料を、原子力発電環境整備機構より提示することとした。 ・出席予定者の事前確認を行い、バックエンド部会等のオブザーバへの案内も行うこととした。 2. 昨年度作成した「語彙基盤」の改良 ・昨年度作成した「語彙基盤」に新たに目次等を追記した草案を事務局で準備し、本年度の「語彙基盤」の改良を同草案から行うことが了承された。第 1 回特別専門委員会で議論するため、事務局より委員に送付し、意見を求めることとした。 3. ワーキンググループについての検討 ・第 1 回ワーキンググループは、第 1 回特別専門委員会で提示した「語彙基盤」草案の具体的な改良に向けた検討を行うこととした。 ・第 2 回ワーキンググループは、「語彙基盤」の実践の場における試行から得られた意見を「語彙基盤」等に反映する議論を行うこととした。 ・ワーキンググループのメンバーは、第 1 回特別専門委員会で人選し、第 2 回ワーキンググループのメンバーは、試行の場における議論を踏まえ、別途人選することとした。
備 考	